



校長講話「江戸しぐさ」

6月22日の校長講話で、「江戸しぐさ」の話をしました。

江戸時代からお互いに気持ちよくくらすしていくための知恵として生まれたマナーである「江戸しぐさ」の「傘かしげ」と「肩ひき」を6年生によるデモンストレーションで紹介しました。



「傘かしげ」や「肩ひき」は、「自分も相手も気持ちがいい、周りで見ている人にも感じがいい」公衆のマナーとして今日まで伝えられています。「江戸しぐさ」から「思いは見えないけれど、思いやりは目に見える。心は見えないけれど、心づかいは目に見えること」を学ぶことができました。

寒川小の子どもたちが実践できている「江戸しぐさ」に通ずることも紹介しました。



集団登校などで横断歩道を渡った後、止まってくれた運転手さんにお辞儀をしてお礼を伝えたり、見守り隊の方へ感謝の気持ちを伝えたりしています。また、6年生の修学旅行では、さわやかな挨拶、礼儀正しい行動ができていました。ホテルで元通りにベッドメイキングをしたり、ペットボトルのラベルをはがし、ふたを分けて片づけたりしてる姿に感心しました。寒川自慢の6年生です！

私たちは、いろいろな人たちと関わりながら暮らしています。「江戸しぐさ」に込められている「相手を大切にする」行動を取りましょう。

講話の後に、寒川JVCの表彰を行いました。おめでとうございます。



四国中央市教科等研究会で授業を観ていただきました！

6月22日（水）、四国中央市教科等研究会の会場校として4つの授業を公開しました。1年竹組は、生活科「きれいにさいてね」で、自分が育てたアサガオをクロームブックで撮影し、観察したことを話し合いました。4年竹組は、特別活動「バランスのよい食事をしよう」で、バランスよく食べることや給食摂取基準量を摂ることの大切さを学びました。5年竹組は、家庭科「生活を支えるお金と物」で、買い物名人になるためにどのようなことが大切かを考えました。特別支援学級：ゆず組では、「よく聞いて当てよう」でクロームブックを使って互いの絵を鑑賞したり、伝え合ったりしました。それぞれの授業の成果や課題について、他校から来られた先生方に貴重なご意見をいただきました。今回の研究成果を生かし、教育活動を充実させます。

